

平成 26 年 4 月 23 日

各 位

上場会社名	s a n t e c 株式会社
代表者	代表取締役社長 鄭 台 鎬
(コード番号 :	6 7 7 7)
問合せ先責任者	業務部管理グループ長 水島 大介
(TEL	0568-79-3535)

特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、このたび、特別損失として減損損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業用資産にかかる減損損失の計上について

当社の光部品関連事業が属する通信市場においては、長らく投資抑制の傾向が続きましたが、業界全体としては徐々に上向きとなっております。一方で、販売が伸びているのは、主として局舎＝加入者間通信用途のものであり、当社の主力である中長距離間通信向け製品について、本格的な動きが始まるのはこれからと見られています。

こうした状況を踏まえ、今般、同事業の保有する事業用資産の帳簿価額について、将来キャッシュ・フローの現在価値にまで減額し、当該減額分、31 百万円を減損損失として平成 26 年 3 月期の特別損失に計上いたします。

2. 遊休資産にかかる減損損失の計上について

当社の保有する遊休不動産（宮崎県西都市）について将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 12 百万円として平成 26 年 3 月期の特別損失に計上いたします。

3. 今後の見通しと通期業績への影響

平成 26 年 3 月期の連結業績への影響につきましては、本日発表の「業績予想の修正のお知らせ」をご覧ください。

光部品関連事業においては、回復の兆しは見えているものの、高い収益力を取り戻すには、市場のトレンドをつかみ、いち早く次世代高付加価値製品を市場に送り出すことが必要と考えております。当社グループでは、同事業における今期の減損処理を、来期以降のコスト負担の軽減につなげ、競争力・収益力の改善を目指して参ります。

以上